

科目ナンバリング		U-LAS22 20004 SO48							
授業科目名 <英訳>		フランス語II B F2157 Intermediate French B				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 松原 冬二	
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語及びフランス語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
この授業では、初級文法を学習し終えた学生を対象として、フランス語の講読をおこなう。教科書として、フランスの中学生用に比較的平易なフランス語で書かれたSF文学の短篇集を講読する。フランス人の現代SF作家によって書かれた作品を読むことを通してフランス語の読解力を養うとともに、英米を中心とするSFというジャンルが、フランスではどのようなテーマとともに文学として発展したのかを、フランスの文化史的な側面から概観する。授業をすすめるなかで中級文法についての解説を行い、フランス語の文法の復習と総まとめができるようにする。									
[到達目標]									
- 文章読解を通じてフランス語の文法の理解を深める。 - フランス語の文章を日本語に翻訳することを通じて、フランス語の特徴を理解する。 - フランス語の文章を朗読することで、正しいフランス語の発音を身につける。									
[授業計画と内容]									
第1回 イン트로ダクション 教材の紹介と授業の進め方の説明。 第2回～第14回 テクスト講読 基本的には訳読を中心とし、テキストの訳文を授業内で発表してもらう。その他、教科書の内容に応じた理解度を問う小レポート(あるいは小テスト)を数回課す予定である。 講読予定テキスト： ・ファブリス・コラン「ヒューマン・ポテンシャル 0, 487」 ・ギュデュール「クローンの日記」 ・ピエール・ボルダージュ「モーダ先生のクラス」 基本的に以上の順序で読み進めるが、受講者のレベルや希望により、順序を変更したり講読する部分を変更することがある。 第15回 フィードバック									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
訳の正確さ、課題や授業への取り組みなど、平常点によって評価します。具体的には、授業中の発表を60%、小レポート等の課題を40%で評価します。その他の詳細は授業中に説明します。									
----- フランス語II B F2157(2)へ続く↓↓↓									

フランス語ⅡB F2157(2)

[教科書]

Claire Pelissier-Folcolini 『Journal d'un clone et autres nouvelles du progres』 (Hatier) ISBN:978-2-401-05281-9

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修 (予習・復習) 等]

予習：前回の授業で指定した箇所の訳読をしてから、授業に臨むこと。
復習：授業で進んだ部分の構文や表現を理解し、次回以降に生かすこと。

[その他 (オフィスアワー等)]

[主要授業科目 (学部・学科名)]